

## DPC提出データを使用した分析

平成22年11月  
診療情報管理室

**【用語の説明】**

- MDC: 主要診断群。神経系、眼科系疾患などの大分類。疾患毎に18分類に分かれている。(DPC14桁の最初の2桁を使用)

DPC14桁: 010060x099030x 脳梗塞、手術なし エタラボン

| MDC分類 |          |
|-------|----------|
| MDC01 | 神経       |
| MDC02 | 眼科       |
| MDC03 | 耳鼻       |
| MDC04 | 呼吸器      |
| MDC05 | 循環器      |
| MDC06 | 消化器      |
| MDC07 | 筋骨格      |
| MDC08 | 皮膚       |
| MDC09 | 乳房       |
| MDC10 | 内分泌      |
| MDC11 | 腎尿路      |
| MDC12 | 女性生殖器・産婦 |
| MDC13 | 血液       |
| MDC14 | 新生児      |
| MDC15 | 小児       |
| MDC16 | 外傷       |
| MDC18 | その他      |

2

### 1. 当院を取り巻く医療状況

図1 当院から半径10キロ、20キロ圏内のDPC関連病院(一部抜粋)

- 地域周産期母子医療センター**  
⇒ 済生会兵庫東病院(279床)
- がん診療連携拠点病院**  
⇒ 市立西脇病院(320床)  
県立柏原病院(303床)  
※両施設とも20km圏外
- 地域医療支援病院**
- 3次救急施設**  
⇒ 該当施設なし

半径10キロ圏内には、DPC対象病院は2施設しか存在しない  
⇒ 競合する施設が少なく、当院の立地条件は恵まれている

3

### 2. 当院の住所別退院患者割合①

グラフ3 平成22年7月・8月住所別退院患者割合

住所別退院患者分布(平成22年7月・8月) n=966

- 65%(627人)の退院患者が三田市に住居がある
- 篠山市、丹波市で約15%(144人)を占める(市外患者の約42%)
- 神戸市北区の患者比率は距離の割には少ない(6.1%、59人)  
⇒ DPC病院がない三田市から北部地域の患者比率が比較的多い

4

### 2. 当院の住所別退院患者割合②

グラフ4 当院における疾病・住所別退院患者数 n=966  
平成22年7月・8月退院患者

- 退院患者数は消化器・循環器・外傷の患者が多い
- 消化器系・外傷系(骨折等)・眼科系は、住居が三田市内の患者が多い
- 循環器系・神経系・耳鼻科系は市内/市外の割合が同程度  
⇒ 待てる/待てない急性期疾患(心臓センター・脳卒中センターの存在)  
⇒ 周辺施設の医療機能の影響

5

### 3. 当院の住所別退院患者割合

グラフ5 疾病・住所別退院患者数(三田市を除く) n=339  
平成22年7月・8月退院患者

- 篠山市からの患者数が多い  
⇒ DPC病院ではないが平成22年6月篠山医療センター開院(一般136床)  
⇒ 今後患者数に影響の恐れ
- 医療圏を超えて様々な疾患の患者が来ている  
⇒ 365日、24時間救急の取り組みの成果

6

### 4.複雑性・効率性指標について①

**複雑性指数**  
(患者構成の指標)

ある病院の傷病名(DPC)別の平均在院日数を全国平均の平均在院日数に置き換えて、診断分類(MDC)全体の平均在院日数を再計算すると、そもそも長期間の入院を要する傷病の患者割合が多い病院のほうが、MDC全体の平均在院日数も長くなる。

**複雑性指数が1よりも大きい病院は、治療に長期間を要する傷病の患者の割合が平均よりも多い。**

**効率性指数**  
(在院日数の指標)

ある病院の診断分類(MDC)内の傷病名(DPC)別患者構成割合を全国平均に置き換えて、診断分類(MDC)全体の平均在院日数を再計算すると、各傷病の平均在院日数が短い病院ほど、MDC全体の平均在院日数も短くなる。

**効率性指数が1よりも大きい病院は、同じ傷病と比べると平均よりも患者を早期に退院させている。**

### 4.複雑性・効率性指標(当院のMDC別)②

グラフ MDC別複雑性・効率性指標 (平成21年度データ)

- 大多数のMDCの効率性は平均を超えているが、複雑性が低い  
⇒心カテ・ポリペク・眼科・小児等、短期入院を扱うと低くなる傾向がある
- 効率性・複雑性ともに平均を超えているMDCは、神経系、耳鼻科系、外傷系の3疾患にとどまった  
⇒効率性を保ちつつ、複雑性をどう扱っていくかの分析が必要

## 在院日数の 度(科別)

平成22年7月 9月退院患者分  
(M D から 出)

平成22年11月  
診療情報管理室

### 数 の )

平成22年7月 9月退院患者MDC 10疾患 入院 度(全科)

※ グラフ:退院件数(主 ) ※折れ グラフ:入院期間 度( 2 )

※入院期間 度について(M D より)

| 入院の 度の    | 入院期間(DPC設 日数)                     |
|-----------|-----------------------------------|
| 0.00 1.00 | 入院期間 日数 (1.00が入院期間 日数)            |
| 1.01 2.00 | 入院期間 (2.00が入院期間 日数) <b>全国平均</b>   |
| 2.01 3.00 | 入院期間 (3.00が入院期間 日数)               |
| 3.01      | 入院期間 より大きい(2 D え) 3.01を超えた日から出来高算 |

### 全科

平成22年7月 9月退院患者MDC 10疾患 入院期間 度(全科)

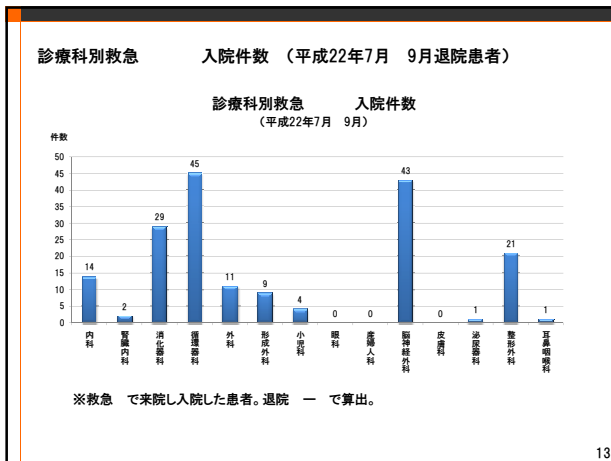
- 内 はDPC設 期間を超えている
- 小 大 の 性疾患、 管 、 管内 管の 性 、 そ径 は全国平均を超えている
- MDC 10疾患の大半は、全国平均より早期に退院している

平成22年11月  
診療情報管理室

### 診療科別救急 入院件数 科別 20手術件数

平成22年7月 9月退院患者分  
(M D から 出)

平成22年11月  
診療情報管理室



13

平成22年7月 9月退院患者 科別 20手術件数

| 診療科   | 手術名                           | 件数 |
|-------|-------------------------------|----|
| 循環器内科 | 経皮的 テン 置術                     | 92 |
| 消化器内科 | 内 的 ポリー ・ 除術(長径2 )            | 68 |
| 循環器内科 | 経皮的 成術                        | 55 |
| 眼科    | 体再 術(眼内 ン を 入する 合)            | 44 |
| 循環器内科 | の血管 術・血 除 術                   | 23 |
| 循環器内科 | 体外ベー ーキング                     | 21 |
| 外科    | 径 手術                          | 18 |
| 消化器内科 | 血管塞 術( 内)                     | 17 |
| 外科    | 骨折 血的手術( 骨、 、大 )              | 16 |
| 脳神経外科 | 性 血 術                         | 15 |
| 産 人科  | 子宮 器 出術(両 )( )                | 14 |
| 消化器内科 | 内 的乳 開術(乳 約筋 筋のみ)             | 14 |
| 外科    | 出術                            | 12 |
| 消化器内科 | 内 的消化管 血術                     | 11 |
| 泌尿器科  | 体外 濾腎・尿管 術                    | 11 |
| 耳鼻 科  | ポリー 除術( )                     | 11 |
| 腎臓内科  | 内 ン 設置術                       | 10 |
| 外科    | 骨折 血的手術( 骨、 骨、手、 、指(手・ )、その他) | 10 |
| 消化器内科 | 内 的 、 指 ポリー ・ 除術(早期 性 )       | 10 |
| 泌尿器科  | 経尿 的尿管 テン 置術                  | 9  |

※診療報 できない手 を ン 件数(施 した手術すべてを算出している)。

14